

書道作品を市に寄贈 なめがた大使 塙雲峰さん

6月8日(木)、書道家でなめがた大使の塙雲峰さんから、自筆の書道作品が市に寄贈されました。作品は、東晋の詩人である陶淵明が、役人をやめ、故郷の田園に帰ってきた際の気持ちを詠んだとされる漢詩「歸園田居（園田の居に帰る）」を書き記したものです。塙さんは、この詩を題材にした理由を「陶淵明の生まれた故郷を恋しがる気持ちが、私の行方市を恋しく思う気持ちと重なった」と説明しました。作品は麻生公民館の1階ロビーに展示され、自由に鑑賞することができます。



県知事を表敬訪問 「行方かんしょ」地理的表示 (GI) 登録

6月12日(月)、行方かんしょブランド推進協議会(会長 鈴木周也市長)が、茨城県大井川和彦知事に、市を代表する農産物であるサツマイモ「行方かんしょ」が令和5年3月31日に「地理的表示 (GI) 保護制度」に登録されたことを報告しました。大井川知事からは「生産者の努力や技術開発の成果だ。県としても輸出促進を頑張りたい。日本の農業を牽引していただきたい」と激励の言葉をいただきました。

私募債を活用し教材用備品を寄贈 吉藤運送株式会社・株式会社筑波銀行

6月16日(金)、吉藤運送株式会社から、寄贈サービス付SDGs私募債「地域の未来応援債」を活用して、玉造中学校に70型電子黒板が寄贈されました。代表取締役の吉藤紀夫さんは玉造中学校出身であり「人材育成と地域貢献のために地元の中学校に活用いただきたい」と生徒の皆さんへの思いを語りました。

▶ (写真左から) 吉藤運送株式会社吉藤紀夫代表取締役、筑波銀行麻生支店笹沼泰之支店長



花と緑で潤いのあるまちづくり なめがたネットワーク連絡協議会

6月17日(土)、なめがたネットワーク連絡協議会(幡谷千恵子会長)が、霞ヶ浦ふれあいランドにて、花壇植栽活動を行いました。この協議会は現在33人の会員が参加し、チャレンジいばらき県民運動の推進と、地域の人たちのネットワークづくりに取り組み、住みよい茨城づくり、行方づくりを進めています。一緒に活動してくれる会員を、随時募集しています。美しい季節の花々で彩られた花壇を、ぜひご覧ください。

の ぼり旗を設置 市内各所に 第73回社会を明るくする運動

6月28日(水)、なめがた地区保護司会・行方市更生保護女性会により、第73回社会を明るくする運動の推進にあたって、のぼり旗が各庁舎と各公民館・霞ヶ浦ふれあいランドに、横断幕が麻生庁舎に設置されました。この運動は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動で、7月を活動の強調月間としています。今後も精力的に啓発運動を行っていきます。



長 年にわたり献血事業推進に協力 なめがた創生会・行方ライオンズクラブ

なめがた創生会(吉崎淳之会長)と行方ライオンズクラブ(飯田信雄会長)の皆さんには、長年にわたり献血事業推進にご協力いただいています。このたび、その功績が認められ、以下のとおり表彰されました。

なめがた創生会には日本赤十字社から「銀色有功章」が贈呈されました。



▲(写真右) なめがた創生会 吉崎会長

行方ライオンズクラブには日本赤十字社茨城県支部から「感謝状」が贈呈されました。



▲(写真右) 行方ライオンズクラブ 飯田会長

第18回行方市長杯軟式少年野球大会

5月28日(日)、6月4日(日)
玉造浜野球場・北浦第2グラウンド
参加: 15チーム

- 【優勝】 杉並ライオンズ
- 【準優勝】 玉造ジャイアンツ
- 【第3位】 大洋ビーバース
- 【第4位】 大野ファイターズ



▲玉造ジャイアンツ

行方市ソフトボール連盟杯中期大会

6月25日(日) 北浦第2グラウンド
参加: 4チーム 50人

- 【優勝】 グロリアス
- 【準優勝】 新宮同志会
- 【第3位】 キングスターズ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計

市内でロケが行われた作品が続々放映されます

撮影の合間には、市のプロモーション活動と併せて、JA なめがたしおさい等と一緒に行方市の特産品をふるまいました。市内での撮影がどのような形で表現されるのか、ぜひご覧ください。

ドラマ「季節のない街」

撮影場所	旧行方小学校（ほか） （ほぼオール行方市ロケ）
撮影時期	令和4年12月～令和5年3月
公開（配信） 予定日	8月9日（水）より 全10話一挙独占配信
視聴方法	ディズニープラス「スター」 （定額制動画配信サービス）
作品紹介 サイト	https://disneyplus.disney.co.jp/news/2023/0511_kudokan



映画「春に散る」

撮影場所	土浦協同病院なめがた地域医療センター
公開予定日	8月25日（金）
視聴方法	全国の映画館
作品紹介 サイト	https://gaga.ne.jp/harunichiru/



ドラマ「連続ドラマW-30『にんげんこわい2』」

撮影場所	沖洲ほほえみの浜・西蓮寺・大山守大場家郷土屋敷・麻生藩家老屋敷記念館
放送予定日 ※市内撮影分のみ ※全ての回 23:00～	8月18日（金） 「第2話 品川心中（上）」 8月25日（金） 「第3話 品川心中（下）」 9月8日（金） 「第5話 権助提灯」 9月15日（金） 「最終話 笠碁」
視聴方法	WOWOW
作品紹介 サイト	https://www.wowow.co.jp/drama/original/ningenkawai2/



市出身作家の作品がドラマ化！作者にインタビュー 「転職の魔王様」

行方市出身の小説家、額賀濤さんの「転職の魔王様」が原作となったドラマが、7月17日（月）からフジテレビで放送中です。ドラマのロケは市内でも行われ、額賀先生も見学されました。インタビューでは、今回のドラマ化についてはもちろん、創作に関する裏話なども語っていただきました。インタビューの様子は、なめがたエリアテレビ（なめテレ）で放送中です。

額賀濤（ぬかがみお）さんプロフィール

平成2年生まれ、旧麻生町出身。行方市立麻生第一中学校、清真学園高等学校、日本大学芸術学部文芸学科卒業。現在は東京都在住。平成27年に「屋上のウインドノーツ」で第22回松本清張賞、「ヒトリコ」で第16回小学館文庫小説賞を受賞し、デビュー。



——ドラマ化について、今の気持ちちは？

小説家になって丸8年たちますが、自分の作品が映像化されるのは今回が初めてです。多分私が世界で一番放送を楽しみにしていると思います。

——見どころは？

タイトルの通り「転職」を題材にした物語で、「仕事」という日々の生活の中で大きなウエイトを占めるものを変える、という行為の中には、色々なドラマが眠っているなどと思って書き始めた作品です。働くという行為を頑張っている人に、必ず何かしら届くメッセージがある物語になっていますので、小説もドラマも同じように楽しんでいただけたらうれしいです。



「転職の魔王様」(PHP文芸文庫)

——撮影現場を見学していかがでしたか？（この日はなめがた地域医療センターでのロケ）

自分が書いた登場人物を俳優さんが演じているのを、不思議な気分で見えています。文字ばかりで描かれていた作品の領域が、一歩大きく広がったんだなと実感して

います。地元でロケがあると聞いたときは驚きました。この病院には私も家族もお世話になったことがあるので、不思議な気分です。

——先生の作品には、行方市の地名や、行方市をイメージしたエピソードが多数登場します。

大学時代にずっと指導していただいた小説の師匠の先生が、学生の私に、とにかく地元を舞台にして書いてみたら、というアドバイスをくれたんです。それがデビューになりました。自分が18年間見てきたものなので、私としてもすごく書きやすかったです。

——先生の作品の題材は、非常に多岐にわたります。取材は大変ですか？

その業界の人でないとなかなかいことがたくさんあるので取材はかなりしますが、仕事やスポーツや部活動などに込める個人的な思いなどは、私はあまりたくさんは聞かないんです。聞きたいのはむしろ、その人の日常とか、日々の仕事だったら、1日どんなふうに通っているのかとか。例えば、カバンの中身とか、スマホのトップページに置いているアプリとか。取材される方からすれば、そんな

くだらないこと必要ですかと思われるようなことですが、そういう日常と密接に結びついているものが、実は小説を書く時にとても必要になってくるんです。

——行方市の皆さんにメッセージをお願いします。

行方市出身の小説家が書いた作品が、行方市でロケをして放送されるということで、行方市の皆さんにはまた違う楽しみ方ができる作品だと思っています。ぜひ私と一緒に、最終回まで楽しく放送を見ていただけたらいいと思います。



「転職の魔王様」毎週月曜よる 10:00～フジテレビ系列で放送中！